

平成自民クラブ

8月8日南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発表、9月21日能登豪雨被害が発生しました。激甚化・頻発する災害から命を守る対策が重要となっています。本市の防災・減災・備災に関し取り組み状況について質しました。市長より近隣住民による自主防災組織の強化や避難所生活用水確保のため学校施設の井戸整備方針を位置付け取り組み旨の答弁を得ました。

地域経済に関し、プレミアム付商品券について質し、電子版ガラシヤ商品券を商工会が継続実施できるよう取り組むとの答弁を得ました。

一般会計補正予算審査では、関西万博への校外学習について、貴重な学びの機会であるため、小中学生へ安全確保の上参加できるように要望し賛成しました。

今後も、市民の安全と安心のための施策の推進、地元企業や農業の振興など豊かな暮らしの実現のため取り組んで参ります。

八木浩・中小路貴司

平成同志クラブ

令和5年度の決算規模は歳入総額約380億円、歳出総額364億円余であり、実質収支は13億円の黒字と安定した事業運営であることを評価します。多くの決算の中で特筆するのは防災・減災への取組であります。

今年は元日の能登半島地震、8月の日向灘の地震とお盆期間に及んだ「南海トラフ地震臨時情報 巨大地震注意」、神奈川県西部地震、先般の能登豪雨と続

いており、市民の意識も関心も高くなっているところです。令和5年度は、東部防災拠点の調査検討が進められました。災害に備えたハードを整備していたべくとともに、災害時要配慮者支援体制の構築など、防災や福祉の視点から地域の力をつけること、自治の視点から自治会など地縁活動を活性化することなど課題を共有していただき、災害への備えを万全なものとして取り組んでいただくことを要望し、令和5年度決算認定に賛成しました。田村直義・三木常照



会派の意見

文責は各会派にあります。

長岡京未来の会

令和5年度の決算は、新庁舎や長4小の建替えなどにより、約380億円の大きな決算規模になりました。法人市民税収が9・4億円、61%も減少した事などから、実質単年度収支は4・4億円の赤字になり、さらに経常収支比率が、8ポイント悪化し、財政の硬直化が進んでいます。これから長3小、スポーツセンター、長中、神足小などの建替えが控えています。

来年から団塊世代が後期高齢者となる2025年問題が始まり、6年後には団塊Jr.世代が定年を迎える2030年問題が始まります。本格的な行財政改革に取り組む必要があります。第3期子ども・子育て支援事業計画では、以前のアンケートを基に、多様な子どもたちの声を取り入れた、アンケートの手法や対象の検討などを要望しました。本市がさらに子育てしやすい環境になるよう会派として取り組んでいきたいと思っています。

小谷宗太郎・川口良江

長岡京黎明の会

令和六年第三回議会（九月）定例会では、令和5年度における長岡京市一般会計歳入歳出決算の認定の他、今年度の補正予算や条例の一部改正及び人事案件の議案が提出されました。

慎重審査の結果、委員会等での意見や要望を付して、全ての議案に賛成いたしました。

一般質問では『長岡京市第四次総合計画第二期基本計画』について質問を行い、第三期基本

計画に繋ぐ旨の答弁を得ました。総括質疑では、「生涯学習環境の充実」「健康づくりの促進」「自治活動の促進」「シティプロモーションの推進」について質疑を行いました。本紙に内容の一部が掲載されていますので是非ともご一読ください。

議会改革特別委員会では、オンライン委員会や休日議会等について議論いたしました。

これからも、住みたい・住みつけたいと実感できる長岡京市を目指して参ります。

富岡浩史・中村亮太

日本共産党

長天西口に85mタワーマン案？

市は長岡天神駅西側で、再開
発事業の実施をめざしています。
市の委託したコンサルタント
業者の報告書では、「素案」と
して高さ85m、45m、31mの3
案が示され、85mのタワーマン
ションなら村田製作所本社ビル
を超える高さとなります。

阪急高架化も、費用便益（B
／C）の基礎的な試算では、得
られる便益に対し3倍の費用が

かかるかとされています。

まちづくり・財政の両面で市
民合意が必須だと指摘しました。

中央公民館の駐車場や学校施
設開放（体育館やグラウンド）
の有料化・値上げ検討が打ち出
されました。給食費値上げもそ
うですが、「受益者負担」の論
理が市政に広がり、公の役割が
改めて問われます。

国への意見書では、子どもの
医療費助成へのペナルティ復活
に反対する意見書、介護報酬の
引き上げを求める意見書を提案
・可決できました。（小）

輝（かがやき）

9月議会では、令和5年度の
各会計の決算審査がそれぞれ行
われ、決算にかかる全議案が認
定されました。一般会計の決算

額は、歳入380・7億円、歳
出364・4億円でしたが、実
質単年度収支は4・4億円の2
年連続の赤字決算でした。財政
健全化法に基づく4指標につい
ては、公表以来良好な数値を継
続しています。

また、今議会では、登壇した

順番で、富田議員から3項目、
干場議員から3項目、宮小路議
員から3項目、進藤議員から1
項目、大伴議員から3項目につ
いて、会派の全議員から一般質
問を行いました。

そして、決算審査特別委員会
小委員会では、富田・大伴・宮
小路の3人の議員が、会派を代
表して総括質疑を行いました。

それぞれの概要については、
この議会だよりに掲載されてい
ますので、ぜひご覧ください。

富田達也・宮小路康文・大伴望
・干場志都恵・進藤裕之

会派とは、同じ意見や考えを持つ議員が集まってつくるグループのことです。
ここでは9月定例会で審議された内容について、各会派の意見を紹介します。

公明党

令和六年九月定例会において
令和六年度一般会計補正予算を
審議し、令和五年度一般会計歳
入歳出決算・特別会計・上下水
道事業会計の議案を審査し可決
認定されました。法人市民税の
大幅な減収など厳しい財政運営
を迫られる中、財政健全化法に
基づく4指標は良好な数値を維
持しており評価できるものです。
今回の一般質問では、超高齢
化社会のなかで増加している加

齢による難聴者のために、市の
窓口で軟骨伝導イヤホンの設置
やマイナ保険証の利用促進、小
中学校の水泳授業の民間委託に
ついて質問しました。

総括質疑では令和五年度の決
算をふまえて、今後の財政運営
・府営水道のあり方や防災・安
全について質疑を行いました。

公明党として「自動運転移動
サービス等の社会実装に向けた
環境整備を求める」意見書を提
案させて頂き、全会一致で可決
されました。

福島和人・石井啓子

平成西山クラブ

令和5年度決算は実質収支13
億円余りの黒字であり、住宅開
発や人口増加、小学校の校舎や
給食室の整備、空調設置など教
育環境の充実等を進める積極的
な事業展開の中、財政健全化指
標は良好な範囲で推移しており
堅実な財政運営であることを評
価します。一方、市民生活に目
を向けると世界的な物価高騰で、
電気・ガス料金をはじめ様々な
ものが値上がりし家計への負担

は大きかったと思います。本市
では、給付金事業や、福祉事業
者、農業者、商工業者への支援
を実施するなど1年を通じて市
民生活の下支えに幅広く取り組
まれたことも大いに評価するも
のがあります。しかし、物価高
騰は今なお進行しており、賃金
の上昇が追いつかない状況が続
いています。今後も市民生活に
及ぶ影響に注視いただくととも
に、さらなる充実に向け対応策
を要望し、令和5年度決算の認
定に賛成しました。

上村真造・白石多津子